

第 15 期 第 1 回 豊中市廃棄物減量等推進審議会 議事録

【 日 時 】	令和8年(2026 年)8月5日(水)10 時 00 分から 12 時 00 分まで
【 場 所 】	生活情報センター くらしかん 3階 体験学習室
【 出 席 委 員 】	小島委員 花嶋委員 石村委員 斧田委員 津田委員 山田委員 井原委員 北山委員 下村委員 宇都宮委員 川勝委員 榊原委員 和佐委員 村田委員 竹之内委員 (15 名中 15 名出席:有効に成立) __は、WEB 参加
【 傍 聴 者 】	2名
【 事 務 局 】	藤家、片羽、小林、小坂、鈴木、渡邊、三島、大和、瀬口、高田、山本、田中、松山、 三浦、中村、工
【 配 付 資 料 】	・(資料)0-0.第 1 回議事次第 ・(資料)0-1.タイムテーブル ・(資料)0-2.第 15 期審議会委員名簿 ・(資料)0-3.諮問文 ・(資料)0-4.審議会の審議日程について ・(資料)0-5.計画策定の予定スケジュール ・(資料)1-1.「第4次豊中市ごみ減量計画」の進行管理について ・(資料)1-2.令和7年度(2025 年度)事業等報告書速報版(案) ・(資料)2-1.現行計画の推進状況と今後の課題 ・(資料)2-2.計画策定のための基礎調査について ・(参考資料 1)ごみを取り巻く社会動向について ・(参考資料 2)食品ロス 1 人 1 日あたり量について ・(参考資料 3)1 人 1 日当たりの食品ロス発生量の推移の示し方について ・(参考資料 4)廃棄物減量等推進審議会規則 ・事前質問書(対応等)

- 開会宣言
本審議会では情報公開条例に基づき、公開の対象となるが、本日の傍聴者は2名。
委員 15 名みなさまが出席されており、審議会規則第6条により本日の会議は有効に成立している。
- 部長あいさつ
- 委員紹介
事務局より資料に沿って説明
- 会長選出およびあいさつ
審議会規則第5条に基づき、委員の互選により小島委員に決定。
- 副会長の指名
副会長については、小島会長の指名により石村委員に決定。
- 諮問
意見を求める内容
第4次豊中市ごみ減量計画の進行管理について
第5次豊中市一般廃棄物処理基本計画及び第5次豊中市ごみ減量計画策定について

- 審議会の進め方について
事務局より資料に沿って説明

1. 第4次豊中市ごみ減量計画の進行管理について

○会長

第4次豊中市ごみ減量計画の進行管理について、事務局から説明をお願いします。

○事務局

＜資料 1-1、資料 1-2 に沿って説明＞

○会長

資料 1-1、資料 1-2 について、ご意見を伺いたい。

○委員

資料 1-2 の P2 において、審議会からの評価について「当年度の目標値を大きく上回っています」とあるが、目標値を上回っているのか、ごみの量が計画を上回っているのか、一読しただけではどちらを指しているのか判別しにくい。私はごみの量が目標値を大きく出たのかと捉えてしまったので、「目標値を達成しています」などの記述の方がわかりやすいのではないか。

○事務局

「達成しています」という文言など、誤解を招かない記述で検討する。

○会長

その他ご意見はいかがか。

○委員

事前質問書(対応等)において、「審議会にて、ご審議いただきたい」という部分はどうするのか。この場で審議すると思っていたため、どうするのかを聞きたい。

○会長

では、事前質問書(対応等)の「審議会にて審議いただきたい」という部分については、審議する方向で進めたい。

○委員

事前質問書(対応等)の P1、3 段目において、「ごみの焼却処理量の実績値は計画改定後及び改定前の目標値を大きく上回っている」というだけでは評価になっていないのではないか。どのような施策、モニター指標が効果的だったのか検証がないと今後の施策に活かせず、評価にならない。施策に対する評価、分析、検証をしていただきたい。

○会長

取組み評価について、ご意見いかがか。

○委員

ごみ量が減ったことについて、コロナ禍で自宅にいる時間が増えたことが要因ではないか。自宅にいる時間が増えたことで、SNS などから市が取り組む施策への情報を収集する時間が増えたことが影響したのではないか。また、物価高騰で節約しようと思っても安いものがあると、つい購入してごみが増える傾向にあると思うが、増えなかったということは、市の様々な施策に気づけてもらったのではないかと思う。

○委員

市が行っている取組みは市の方がよくわかっていると思うので、取組み評価に対して、まずは市の方にリードしてやっていただきたい。

○会長

ご意見について、もっともだと思う。

事務局の方から、ごみ減量施策の影響があったかどうか、ご見解をお願いしたい。

○事務局

ごみの量というのは、社会情勢や経済状況によって大きく関係する部分がある。その中で行政として、ごみの減量を進めていくためには、発生抑制、再使用、リサイクルに対してどのように取り組むかが行政の力の入れどころだと思う。

発生抑制については、食品ロスを初めとして、レジ袋の削減など、事業者と連携しながら進めてきた。

再使用については、子ども服リユースを初めとして、生活困窮者に対する臨時ごみで回収した家具のリユースなど、必要な方へのお渡しなどに取り組んできた。また食品ロス削減では、事業者と連携し、力をいれてきた部分についても効果が大きかったと認識している。

リサイクルについては、飲料メーカー、再商品化事業者と連携協定を締結し、ペットボトルの水平リサイクルを進めている。廃食油においても、航空関連事業者、廃油事業者と連携し、SAF(持続可能な航空燃料)などにリサイクルする取組みを推進している。

本市は他市に比べて分別がかなり多く、資源化への取組みの結果、ごみ量の減量につながっていると思う。

○事務局

補足として、着任以来釈然としない部分を委員のご指摘により、的確に言語化していただいた思いである。数値指標は設定し、様々な施策を行っているが、ごみの減量は社会全体の消費量とか経済状況で大きく変化していくとはいえ、市や市民の取組みがどのように結果を出したかを表現しないといけない。今後の課題として指標の立て方を検討したい。

大きな目標としては減量があることは間違いない。その上で、それぞれの生活、事業活動の場面で何をするのが効果的であるかということに踏み込んでいくことが大切だと思う。

○会長

評価については、Evidence Based Policy Making と言って、証拠に基づく政策策定を行うよう国などは言っている。それに資することをどういう風に、どう政策評価をしていくかは論点だと思う。

政策評価のご研究もされている委員から少しコメントいただければと思う。

○委員

市の1つの取組みがどれだけごみ量の減量に寄与したかという分析は極めて困難である。検証するのであればサンプルを絞ってデータを取り、統計分析することで初めて因果関係があるのかどうか明らかになるため、調査は大変だと思う。

個人的な意見としては、目標を大きく達成しているとあるが、注意点が2つあり、一点目に目標設定が甘すぎたのではということ、二点目として、全国的にもごみ量は減少傾向にあり、それと比較しても減少率が大きいならよいが、全国より減少率が小さい場合もあるので、これらも慎重に見ていく必要がある。

○委員

調査が難しいことは重々承知であるため、できるだけ定量的、数値的に評価を行うのが一つの方法であると思う。

○委員

「ハッピー(8%)ごみ減量プラン」は市民に配られることを考えると、グラフが複雑である。すっきりした見やすいグラフがよいと思う。

審議会からの評価についても、「～と考えられます」という表現だが、委員からもあったように定量的に評価していただきたい。難しいと思うが、市民アンケートも数値化の1つだと思う。「～と考えられます」という表現ではなく、意識がこう変わったというような言い方もできるとよいのではないか。

○事務局

細かな検証は難しいという点については、ご理解いただけるかと思う。ただ定量的にというのは説得力があり、必要なことであると考え。どこまでできるかすぐには判断できないが、例えば全国との比較などで、ある観点からはこのような評価ができるというような多面的な評価を検討したい。

○委員

平成30年から令和6年までで、1740自治体の中、92%の自治体でごみ量が減っている。ただし、人口減の理由もあるので、1人1日あたりのごみ量が減っているかどうかについては、74%の自治体では1人1日あたりのごみ量も減っている。日本全体として、ごみ量は減っているという状況にあることを報告する。

○会長

引き続き、事前質問書(対応等)のP.3、1段目 食品ロス1人1日当たりの量の減量についても、審議いただきたい。ご意見いかがか。

○委員

今の社会情勢の影響により、食品の買い控えで減少しているところはあると思う。

○会長

事務局の方からご見解をお願いしたい。

○事務局

フードドライブの浸透、無駄なく使うことの意識向上などが減量効果にあると思う。

○会長

その他のご意見が特になければ、次の議題へ移る。第5次豊中市一般廃棄物処理基本計画及び第5次豊中市ごみ減量計画策定に係る「現行計画の推進状況と今後の課題」について事務局から説明をお願いする。

2. 第5次豊中市一般廃棄物処理基本計画及び第5次豊中市ごみ減量計画策定について

○事務局

＜資料 2-1 に沿って説明＞

○会長

議論の必要がある「(参考資料3)1人1日当たりの食品ロス発生量の推移の示し方について」について、議論していきたい。

見せ方が3種類ある。すでにパターン3がよいとご意見いただいているが、みなさんのご意見を募りたいと思う。

○委員

市民の見方として、数字が入っていると実測値という誤解をもたれる可能性が高いと思う。

市民の方が推計値の計算方法等をちゃんと読む・理解することは難しい。パターン2がよいと思う。

○委員

ご意見があった委員の見方が非常に重要だと思う。実際に測った時点の数値を使うパターン2がよいと思う。パターン3では誤解を生む。間の時期に調査をしていないし、2つの実態調査でも季節とか諸々条件が異なり、直線でつないでしまうことはよくないと思う。パターン2のほうが正確な表現だと思う。

○委員

パターン3はないと思う。調査の方法は、ごみの中から物を取り出して組成分析してるので、最後の析まで正確という性質ではない。不正確にやっているわけではないが、そのように調査するしかないの、どのように推計値を算出したかをわかるように表示していただきたい。そのため、総合的に考えてパターン2がいいかと思う。

○委員

補間する方法には、直線補間と指数補間があるが、直線補間だと、正式な調査は5年に1回であり、毎年一定数が増減すると仮定するのは難しいため、パターン2でよいと思う。

○会長

議論の結果、パターン2を進める。

その他ご意見いかがか。

○委員

資料 2-1 の P.3 家庭系ごみについて、紙類に紙おむつを含めているが、紙おむつはプラスチックに準ずるものなので、紙類でないもので算出してもらいたい。ご高齢の方の紙おむつも増えており、紙類のリサイクルができるようなものではないので、今後、分類の検討をお願いしたい。

○事務局

次回調査時に、ご意見も踏まえ、検討を行いたい。

○会長

その他ご意見が特になければ、次の議題へ移る。

第5次豊中市一般廃棄物処理基本計画及び第5次豊中市ごみ減量計画策定に係る「計画策定のための基礎調査について」事務局から説明をお願いする。

○事務局

＜資料 2-2 に沿って説明＞

○会長

資料 2-2 について、ご意見を伺いたい。

○委員

すでに質問数が多いので、増やすのもどうかと思うが、フードドライブを出すときのルールにおける認知度はどうなのか。

マイクロプラスチックやナノプラスチックについて、豊中市は海がないので関心が薄いと思うが、認知度についてそろそろアンケートに入れてよいのではないかと。ほとんどは川から海に流れるので、豊中市も汚染源になりうる。若い頃には公害で痛い思いをしている世代なので、前もって注意喚起を行うようにアンケートに入れてもいいのではないかと。

○事務局

フードドライブの出し方のルールは確認したい。

マイクロプラスチックについては、認知度の確認であれば盛り込んでもよいと思うが、設問については検討する。

○委員

生ごみの堆肥化が進むと減量的にも、資源的にもよいと思う。

個人的にコンポストを始めたとともに、色々なコンポストがあると説明したら、やってみたいといった友人が何人もいる。コンポスト助成金が市の施策では終わっているが、みんなのイメージが古いタイプのコンポストのままで、新しいコンポストならやってみたい人がいるかもしれない。資料 P.10、11 にキエーロなどの文言を入れてみて、興味のある人が多いことがわかれば、施策につなげることもありうるのではないかと。

○事務局

コンポストなどの認知度、興味度は事務局でも知りたいと思っている。

そこで P.12 問 26 7 生ごみのコンポスト(堆肥化)の選択肢を載せており、ここでみなさんのご意見を伺いたい。また P.10 問 23 でも取組み状況を確認することができればと思う。

○委員

マイクロプラスチックについて話があったが、話が大きすぎて、市の単位で対策を打てるようなものではないと思う。

コンポストについては、市民の関心が高ければ、講座開催など補助の検討もできると思う。市の施策につながるようなものについて、アンケートで確認することがよいと思う。

○事務局

今回のアンケートについては、次の施策につながる内容を検討しているが、必要があるかどうかはすぐには判断が難しい。みなさまのご意見を受けて検討していきたい。

○委員

設問数が多くて、答えられるように工夫されているが、どれぐらい回答がもらえるかが疑問である。

○委員

昨年、高齢者向けデジタルサービスの実証実験を行った。公式 LINE を使用して、抽選でマチカネポイント付与を行った。予算があるならば、ポイント付与なども検討してみてもよいかもしれない。

○事務局

ポイント付与は現在検討していない。

○会長

その他について、事務局から説明をお願いする。

3.その他

○事務局

次回の開催については、10月19日(月)10時を予定している。みなさまにもご出席いただきたい。

○会長

ご意見ありがとうございました。本日の議事は以上とし、「第15期第1回豊中市廃棄物減量等推進審議会」を閉会する。

4.閉会